

【テレワーク・デイズ2018 報告会】

# 損保ジャパン日本興亜の ワークスタイルイノベーション

---

2018年10月12日



損害保険ジャパン日本興亜株式会社

人事部 企画グループ 龍岡 望



## SOMPO ホールディングス

売上高 (2017年度)

3兆7,700億円

純利益 (2017年度)

1,627億円

社員数 (2018年3月末)

約80,000人

目指す姿

安心・安全・  
健康の  
テーマパーク

### 国内生保事業

- 損保ジャパン日本興亜ひまわり生命

### 海外保険事業

- 世界30カ国・地域、218都市

### 国内損保事業

- 損保ジャパン日本興亜
- セゾン自動車火災
- そんぽ24 等

### 介護・ヘルスケア事業等

- SOMPOケア
- プライムアシスタンス
- フレッシュハウス 等



## 損害保険ジャパン日本興亜株式会社

(2018年4月1日現在)



- ・社員数 26,189名 (男性10,581名 女性15,608名) ※女性比率 59.6%
- ・創業 1888年 (明治21年) 10月
- ・正味収入保険料 2兆1,680億円

・代理店数 56,340店

国内 営業部・支店 127

保険金サービス部 27

店舗 営業課・支社・営業所 568

保険金サービス拠点 288

保険の先へ、挑む。



# 働き方改革 ～取組みの目的～

多様な人材が最大のパフォーマンスを発揮できる環境を整備しないと企業としての強さが発揮されないという**危機感**。

また当社のグループ経営理念である「お客さまの安心・安全・健康に資する最高品質のサービスの提供」のベースとなる「**社員の心と体の健康**」を確保するためにも必要不可欠。

**狙い**

**全社員の生産性向上**

**Action**

**ワークスタイルイノベーション  
(時間と場所にとらわれない柔軟な働き方)**

**多様な人材が活躍できる  
環境・制度の整備**

**時間あたりの生産性を高める**

**多様な働き方の実践**

**テレワーク**

**シフト勤務**

**時間と場所に捉われない柔軟な働き方の実践**



# 働き方改革 ～テレワーク推進の取組み～

## 制度・ルールの特長

### テレワーク

- ・**全社員**を対象（育児・介護等の条件なし）
- ・自宅の他、**サテライトオフィス**や**カフェ**なども可。
- ・1か月の**上限回数**を撤廃
- ・「午前のみ」「午後のみ」等の**一部利用**も可

### （参考）シフト勤務

- ・全職場で、個人別・労働日単位でシフト勤務が可能
- ・就業時刻を9パターンから選択可

## インフラの整備

- ① 社内と同様のセキュリティレベルのネットワーク環境を構築できるシンクライアント端末を配備
- ② 育児や介護の事情を抱える社員に対し、突発事象発生時の在宅勤務用として、**自宅設置用のシンクライアント端末を追加配備**
- ③ 外出先や移動時など、**時間や場所にとらわれな**い働き方を可能とする、**B Y O D**の導入や全営業社員にスマートフォンを配備

## 風土の醸成・意識改革

- ① 管理職が各職場で策定する目標に、**多様な働き方の実践に向けた自主目標を設定**
- ② **管理職向け研修**で、働き方の改革・テレワークの活用等に関するカリキュラムを実施
- ③ **管理職の率先垂範**に向けて、役員や管理職によるテレワークの実施を推奨

# 働き方改革 ～テレワークの推移（施策・利用者数）～



損保ジャパン日本興亜

| 年度   | ハード面（制度）   | ソフト面（意識改革）  | テレワーク利用者数 |
|------|--|---|-----------|
| 2012 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワーク制度導入</li> <li>・シンクライアント端末の配備</li> </ul>   |   |           |
| 2013 |  |   |           |
| 2014 |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本社部門テレワークトライアル実施</li> </ul>   | 131名      |
| 2015 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワーク実施可能日数の上限撤廃</li> <li>・対象者の拡大（全社員を対象）</li> <li>・短時間勤務者への追加PC配備</li> </ul>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・WSIコンテスト※開催</li> <li>・「小さな本社における働き方ハンドブック」リリース</li> </ul>   | 1,522名    |
| 2016 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・営業外勤社員へのiPhone貸与</li> <li>・BYOD（私有スマホの業務利用）を拡大</li> <li>・社内文書（通達等）のマルチデバイス化</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「WSIチャレンジメニューナビ」リリース</li> </ul>   | 2,088名    |
| 2017 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社内サテライトオフィスの拡充</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・Ji-Tan（時短）フェス2017※開催</li> <li>・「働き方改革マグネット」配布</li> <li>・「働き方改革Guide」リリース</li> <li>・J I N S M E M Eトライアル（集中力測定）</li> </ul> | 2,995名    |
| 2018 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・追加PC貸与対象者の拡大</li> <li>・貸与携帯の内線化</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各職場で自主目標の設定</li> <li>・「別冊 働き方改革Guide」リリース</li> <li>・Ji-Tan（時短）フェス2018※開催</li> </ul>                                       |           |

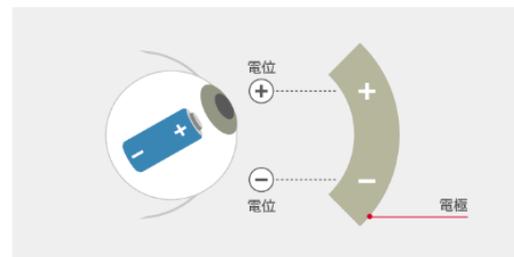
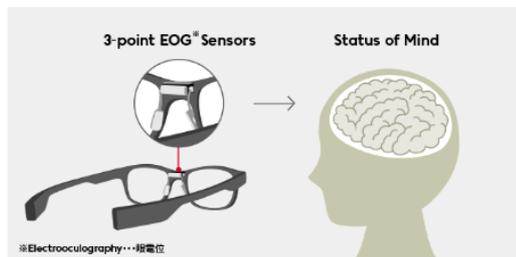
※社内表彰制度



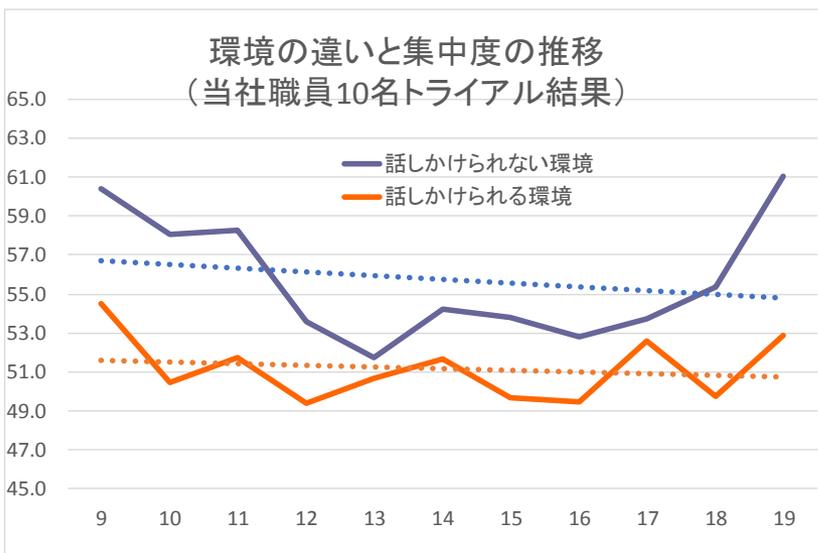
# テレワーク・集中度測定トライアル

## Google womenwillプロジェクト「テレワーク・集中度測定トライアル」

2017年11月のテレワーク月間（政府制定）に合わせ、Google（womenwillプロジェクト）、JINS等とのコラボレーションにより、センシング機能付きアイウェア「JINS MEME」を用い、様々な環境下での集中度測定を実施。



「眼球の動き」や「まばたき」から集中度をスコア化 → 時間や場所に応じた集中度を測定



### 効果検証

- ・話しかけられない環境のほうが集中度が高い。
- ・日中の時間帯が相対的に集中度が低い。

### 対策

- ・テレワークや集中タイムの推進。
- ・サテライトオフィスや集中ブースなどの環境整備。



# テレワーク・デイズの取組み（サテライトオフィス）

## 社内サテライトオフィス新設

2017年度から順次サテライトオフィスを拡大し、テレワーク・デイズに合わせて、本社、大宮、府中ビルにサテライトオフィスをオープン。

出張者や外出時のテレワーク利用でスキマ時間や移動時間の効率化をサポート。またビル内勤務者の集中スペースとして生産性向上をサポート。



現在、首都圏オフィスのサテライトオフィス化トライアル（8ヶ所）を推進中。

- ・ 職場を離れることで、集中できる環境で業務を行う。
- ・ 自宅近隣のオフィスに出社することで通勤時間を大幅削減。
- ・ 下りの電車を利用することで、通勤のストレス軽減。

# テレワーク・デイズの取組み（東急電鉄社コラボ企画）



損保ジャパン日本興亜

## 目的

- 自らテレワークを利用してみるきっかけ作り。
- テレワークによる業務効率化と時間創出によるプライベートの充実を体感させる。
- 社外とのコラボにより、世間のテレワークの流れ・推進状況を実感させる。

## 概要

- 7月23日  
東急電鉄社員が当社サテライトオフィスなどでテレワークの後、美術館鑑賞。
- 7月24日  
当社社員がNewWorkなどでテレワークの後、車両工場見学。

7/23 東急電鉄→損保ジャパン日本興亜



7/24 損保ジャパン日本興亜→東急電鉄



テレワーク利用によるワクワク感を演出



## テレワーク利用実績

- 直近1年間：約3,200人（BYOD等利用のモバイルワーク含めると1万人超）
- テレワーク・デイズ期間中：343名（実施者の残業時間前年同期比 ▲17.0%）

## 実施の効果（実施者からのアンケートより）

### 前向きな声

- ①集中できる環境で業務することで生産性が向上した  
（アンケートで約9割が回答）
- ②企画業務や分析業務など、集中して考えることができ、大変効率的だった。
- ③移動時間の無駄が削減されることにより効率化が実現
- ④業務終了後、家族と楽しい時間を持つことができ、大変有意義な1日だった。

### 課題に関する声

- ①より一層ペーパーレスを推進していく必要がある
- ②自宅でのテレワークは、場所の確保や家族の理解が必要
- ③お客さまの電話対応など、職場内での役割分担の調整が必要
- ④職場のコミュニケーション確保が必要

## 今後の取組み

- 社内と変わらない環境整備
  - ・デバイス軽量化
  - ・ネットワーク接続の高速化
  - ・サテライトオフィスの拡充
  - ・ペーパーレスの推進 etc



**SOMPO**  
ホールディングス

保険の先へ、挑む。